

施策評価シート

対象事業年度 平成 26 年度

施策5

政策	Ⅲ 安全・安心な港	施策推進 責任者	企画調整室長・建設部長
施策	5 港の安全性・信頼性の向上		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういった状態にしたいのか)	防護機能の強化により背後地域を高潮や津波から守り、災害に強い港湾機能を提供することにより、人びとの安全な暮らしに貢献し、施設利用者が安全安心に利用できる、信頼される港	
	サービスの対象物(何を)	高潮防波堤や防潮壁などの防護機能や港湾機能			
展開①	背後地域を津波、高潮から守る防護機能の強化	展開②	港湾施設の計画的な更新・強化による安心・安全な港湾機能の提供	展開③	港湾施設等の耐震化による安全性の向上
	高潮防波堤の改良事業や防潮壁、堀川口防潮水門、中川口通船門等の補強対策を進めることにより、津波、高潮などの海岸災害に対する防護機能を強化します。		港湾施設の老朽化に対し、予防保全の観点から計画的な維持管理に取り組み、利用者へ安心・安全な港湾機能の提供を行います。		港湾施設等の耐震診断や耐震補強などを行うことにより、災害時における施設の安全性の向上に取り組みます。

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	24年度	25年度	26年度	目標値	26年度の 状況	26年度実施事業に基づく評価結果		
			上段:指標 目標値					27年度以降の方向性		・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
			中段:指標 実績値					成果	コスト	
下段:事業費(単年度・人件費込・国費除く)										

【展開①】背後地域を津波、高潮から守る防護機能の強化

施05 事101	高潮防波堤(改良)整備事業 (事業担当)	事業進捗率(整備費換算) 【進行管理型】	-	-	79.6%	100%(累計)	順調	継続	維持	維持	・名古屋港の防災機能の強化に必要不可欠な事業であり、平成27年度の完了に向けて、着実に整備を推進する必要があるため。
			28.0%	46.3%	79.6%	27年度完了					
			260,274千円	1,008,282千円	1,346,828千円						
施05 事102	防潮壁(改良)整備事業 (事業担当)	整備延長(整備実績) 【進行管理型】	-	-	1.44km	4.4km(累計)	遅れ	継続	拡大	拡大	・整備に必要な予算確保に努めるとともに、早期に整備を推進する必要があるため。
			0.7km	0.74km	0.94km	30年度完了					
			382,126千円	286,175千円	117,126千円						
施05 事103	防潮扉(改良)整備事業 (事業担当)	防潮扉の改良数 【進行管理型】	-	-	46箇所	58箇所(累計)	遅れ	継続	拡大	拡大	・愛知県地域防災計画の見直しを踏まえ、防潮扉の修正設計を実施しました。引き続き、整備に必要な予算確保に努めるとともに、早期に整備を推進する必要があるため。
			36箇所	40箇所	40箇所	29年度完了					
			107,250千円	8,776千円	10,819千円						
施05 事104	堀川口防潮水門の地震・津波対策 (工事課)	既設躯体への耐震補強工事 完了までの進捗状況 (全4工程) 【進行管理型】	-	-	2工程	3工程(累計)	順調	継続	維持	維持	・港の安全性の向上に必要な不可欠の事業であり、継続的に事業を進めていく必要があるため。
			-	1工程	2工程	30年度					
			-	86,732千円	139,573千円						
施05 事105	中川口通船門の地震・津波対策 (工事課)	既設躯体への耐震補強工事 完了までの進捗状況 (全4工程) 【進行管理型】	-	-	2工程	4工程(累計)	順調	継続	維持	維持	・港の安全性の向上に必要な不可欠の事業であり、継続的に事業を進めていく必要があるため。
			-	1工程	2工程	29年度完了					
			-	96,834千円	162,899千円						
施05 事106	海岸保全基本計画 (名古屋港海岸)の見直し (計画担当)	海岸保全基本計画見直し までの進捗状況 (全6工程) 【進行管理型】	-	-	5工程	6工程(累計)	順調	継続	維持	維持	・本組合が管理する海岸に係る整備計画案を愛知県・三重県が策定する海岸保全基本計画に位置付けるため、関係機関と調整を図る必要があるため。
			1工程	2工程	5工程	27年度完了					
			3,051千円	15,657千円	6,959千円						

【展開②】港湾施設の計画的な更新・強化による安心・安全な港湾機能の提供

施05 事201	大江ふ頭耐震強化岸壁改良事業 (事業担当)	事業進捗率(整備費換算) 【進行管理型】	-	-	7.4%	100%(累計)	やや遅れ	延伸	拡大	拡大	・港湾利用者と調整を図りながら、早期に整備を推進する必要があるため。 ・愛知県地域防災計画の見直しを踏まえ、調整に期間を要したため目標年次を1年延期しました。(29年度→30年度に延伸)
			-	-	2.8%	29年度完了					
			-	-	114,869千円						
施05 事202	港湾施設の維持補修事業 (事業担当)	老朽化や故障などにより、 使用停止した港湾施設の数 【単年度管理型】	0件	0件	0件	0件	目標値 どおり	継続	維持	維持	・港湾施設等の維持補修により、施設の安全性の確保や延命化を着実に進めていく必要があるため。
			121,763千円	358,728千円	112,469千円						
施05 事203	港湾施設等 アセットマネジメントの推進 (維持管理担当)	港湾施設等アセットマネジメン ト推進計画策定の工程 (全6工程) 【進行管理型】	-	-	6工程	6工程(累計)	やや遅れ	延伸	維持	維持	・推進計画策定の工程において、平成26年度目標の6(公表)まで至らなかったため。 (26年度→27年度に延伸)
			-	2工程	4工程	26年度完了					
			-	23,652千円	29,951千円						

【展開③】港湾施設等の耐震化による安全性の向上

施05 事301	建築物耐震対策整備事業 (施設工事担当)	名古屋港管理組合所管の 建築物の耐震化率 【進行管理型】	-	-	74%	90%(累計)	順調	継続	維持	維持	・引き続き、耐震性が不足する建築物の地震対策を行っていく必要があるため。
			67%	69%	74%	30年度					
			25,567千円	41,468千円	19,953千円						
施05 事302	港湾施設等の耐震性の検証 (工事課)	事業進捗率(整備費換算) 【進行管理型】	-	-	100.0%	100%(累計)	順調	完了			
			-	91.0%	100.0%	26年度完了					
			58,962千円	76,257千円	21,807千円						
		施策コスト(合計)千円	958,993千円	2,002,561千円	2,083,253千円						

3. CHECK(成果目標の状況・26年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等		24年度	25年度	26年度	目標値 [30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	(仮目標値)※	km	-	-	(1.44)	4.4	
防潮壁等の機能強化を行った整備延長	実績	km	0.70	0.74	0.94		・防潮壁の改良は、平成30年度の目標値に対して遅れているものの、必要な国費の内示減の状況の中、着実に整備の推進を図りました。
老朽化や故障などにより、使用停止した 港湾施設の数	実績	件	0	0	0	0	・港湾施設の適切な維持管理により、老朽化や故障により使用停止する施設は有りませんでした。

※

仮目標値 = 指標設定時の値(平成25年度) + $\frac{\text{目標値(平成30年度)} - \text{指標設定時の値(平成25年度)}}{5\text{年間(政策体系期間)}}$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?) (見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)
○適正・見直しが必要

4. ACTION(課題・27年度以降の取組方針)

26年度に取り組んだ内容		課題	27年度以降の取組方針
【展開①】	・高潮防波堤の改良は、国により上部工の高上げやケーソンの補強等が完了し、海上部区間については概成しました。 ・防潮壁の改良は、鴨清地区の護岸補強整備、他地区の基本・実施設計や空洞化調査を実施するとともに整備に必要な予算確保に努めました。 ・堀川口防潮水門・中川口通船門は、門扉補強工事・躯体補強設計を完了しました。 ・本組合が管理する海岸に係る整備計画案を愛知県等と調整を行い、「三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画」の変更に向けて愛知県案に位置付けました。	・高潮防波堤の改良は、着実に整備を推進する必要があります。 ・防潮壁・防潮扉の改良は、整備に必要な予算を確保する必要があります。 ・堀川口防潮水門は、津波への対策を更に強化する必要があります。 ・「三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画」変更に向けて、関係機関と調整を図る必要があります。	・高潮防波堤の改良は、平成27年度の完了に向けて、陸上部区間の着実な整備の推進を図ります。 ・防潮壁・防潮扉の改良は、整備に必要な予算確保に努めながら、着実かつ早期に整備を推進していきます。 ・堀川口防潮水門・中川口通船門は、躯体の耐震補強工事を着実に推進するとともに、堀川口防潮水門は、新たな水門の整備に向けて検討を進めていきます。 ・「三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画」の平成27年度の変更に向けて、関係機関と必要な調整を図っていきます。
【展開②】	・大江ふ頭耐震強化岸壁は、老朽化対策として岸壁改良(海側地盤改良・電気防食)を行いました。 ・港湾施設等アセットマネジメント推進計画策定に向け、港湾施設の施設毎に維持管理レベルと補修優先順位を決定しました。	・大江ふ頭耐震強化岸壁は、鉄道車両や航空機の部品などを扱っており、岸壁利用に大きな影響が出ないよう、事業を実施する必要があります。 ・港湾施設等アセットマネジメント推進計画を効果的に推進していくため、計画のPDCAサイクルと計画実施の効果の検証方法を検討する必要があります。	・大江ふ頭耐震強化岸壁の改良は、利用者調整を図りながら、事業進捗を図っていきます。 ・平成27年度に港湾施設等アセットマネジメント推進計画を策定し、限られた財源の中で、最大の効果が発揮できるように施設補修を行っていきます。
【展開③】	・建築物の耐震改修工事を3件実施しました。 ・堀川口防潮水門及び中川口通船門の躯体について耐震補強策の検討を行い、港湾施設等の耐震性の検証を完了しました。	・建築物の耐震対策は、港の安全性向上に必要な不可欠な事業であり、継続的に事業を進めていく必要があります。	・引き続き、耐震性能が不足する建築物の地震対策を行っていきます。